

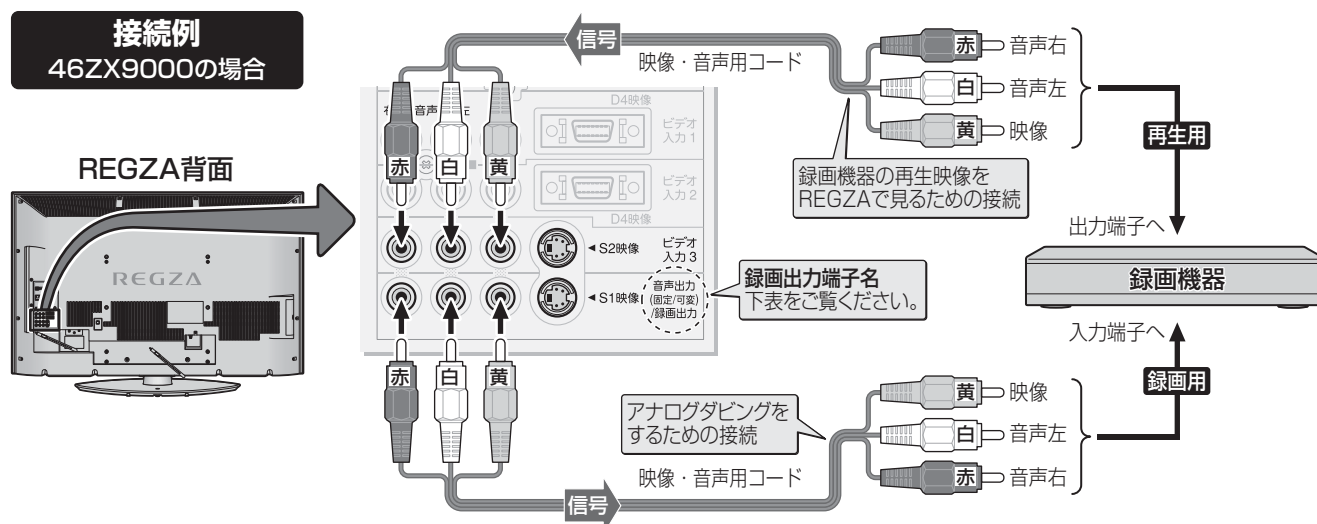
- REGZAで下表のダビング元機器に録画した番組を、ビデオやDVD、BDレコーダーなどの録画機器に標準画質でダビングすることができます。

REGZA機種名	ダビング元機器
RH500、FH7000、H7000シリーズ	内蔵ハードディスク、増設ハードディスク(eSATA)
ZH500、ZH7000、ZH8000シリーズ	内蔵/USB/LANハードディスク、i.LINK機器
Z3500、ZV500、Z7000、Z8000、ZX8000シリーズ	USB/LANハードディスク、i.LINK機器
H8000、H9000、HE1、H1シリーズ	内蔵/USBハードディスク
R9000、RX1、R1BDP、R1、RE1シリーズ	USBハードディスク
Z9000、Z9500、Z1シリーズ	USB/LANハードディスク
ZX9000、ZX9500シリーズ	内蔵/USB/LANハードディスク

準備

- REGZA背面の録画出力端子(機種によってはアナログダビング出力端子)と録画機器の外部入力端子を接続する

- REGZAと録画機器の双方にS映像端子がある場合は、S映像用コードと音声用コードでの接続をおすすめします。



- 背面端子の配置は機種によって異なります。また、録画出力端子の名称は下表のとおりです。

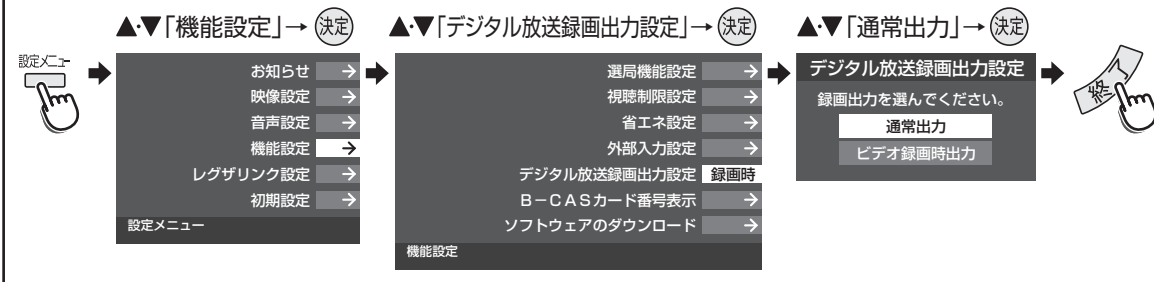
REGZA機種名	録画出力端子名
Z3500、RH500、ZH500、ZV500、H7000、FH7000、Z7000、ZH7000シリーズ	デジタル放送録画出力
H8000、H9000、R9000、RX1、R1BDPシリーズ	音声出力(固定)/録画出力
Z8000、ZX8000、ZH8000、Z9000、ZX9000、Z9500、ZX9500シリーズ	音声出力(固定/可変)/録画出力
Z1、RE1、HE1、R1、H1シリーズ	音声出力(固定/可変)/アナログダビング出力

次ページにつづく

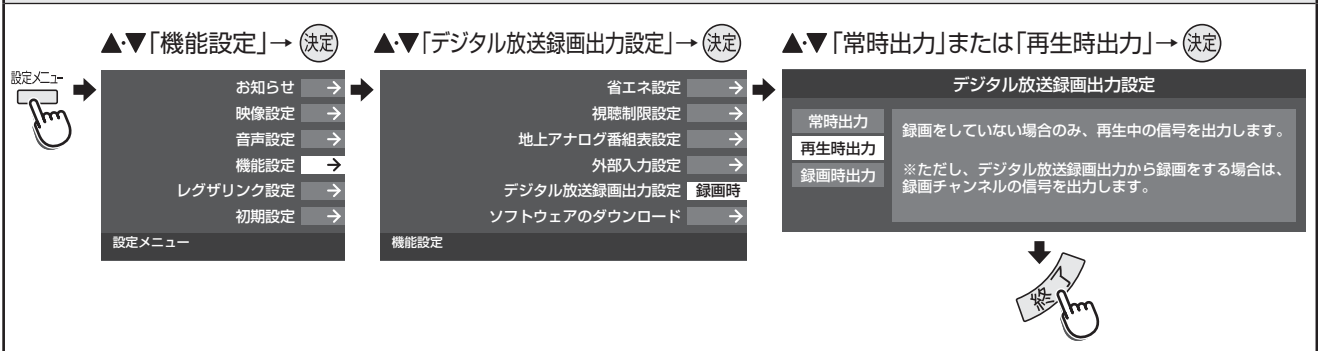
② REGZA 背面の録画出力端子から信号を出力するために、以下の設定をする

Z3500、RH500、ZH500、ZV500、H7000、FH7000シリーズ

※機種によって設定項目の有無や項目名が異なる場合があります。

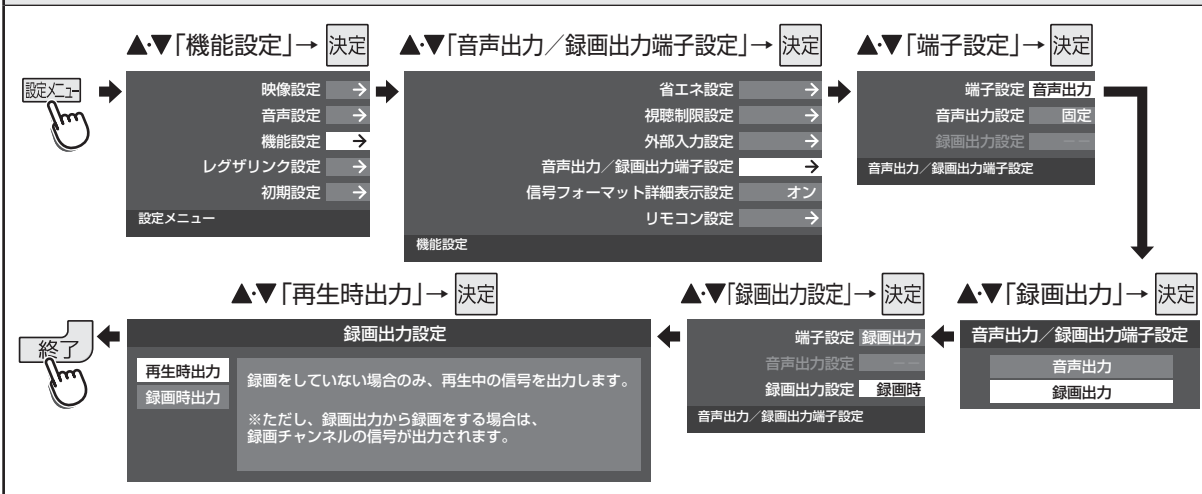


Z7000、ZH7000シリーズ



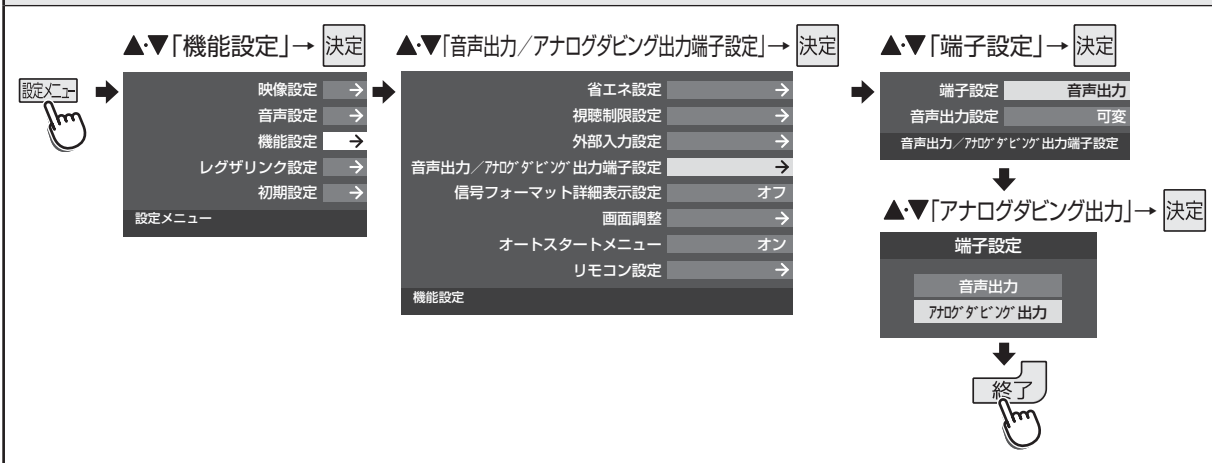
H8000、Z8000、ZX8000、ZH8000、R9000、H9000、Z9000、ZX9000、Z9500、ZX9500、RX1、R1BDPシリーズ

※機種によって設定項目の有無や項目名が異なる場合があります。



Z1、RE1、HE1、R1、H1シリーズ

※機種によって設定項目の有無が異なる場合があります。



準備 つづき

- 録画機器側で、REGZAの録画出力またはアナログダビング出力を接続した外部入力に切り換える

ダビングの操作

- 録画機器側で録画を開始する
- REGZAで録画リスト画面を表示させ、ダビングする番組を選んで[決定]ボタンを押す
 - REGZAでの録画番組再生が始まり、接続した録画機器に録画されます。
- REGZAの録画番組再生が終わったら、録画機器側の録画を止める
 - 上記の手順の場合、ダビング先の録画番組冒頭に不要な部分が録画されます。不要な部分を少なくするには、手順②の[決定]ボタンと手順①を同時に操作するなどの工夫をしてみてください。

お知らせ・ご注意

- 標準画質(480i)、アナログ2チャンネル音声で録画されます。字幕などは録画されません。
- 再生時間と同じだけダビングに時間がかかります。
- ダビング中にREGZA側で一時停止や早送りなどの操作をすると、その映像・音声でそのまま録画されます。その他、REGZA側で操作をすると、録画出力端子(機種によってはアナログダビング出力端子)から再生信号が出力されなくなることがありますので、何もしないでダビング終了まで待つことをおすすめします。
- 録画出力端子からの録画予約が設定されていた場合、その録画の開始時刻になるとデジタル放送番組の映像・音声に切り換わります。